



# 2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月5日

上場会社名 ユアサ・フナシヨク株式会社  
 コード番号 8006 URL <https://www.yuasa-funashoku.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 山田 共之  
 (氏名) 黒坂 幸夫

TEL 047-433-1212

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	27,702	1.8	289	△40.6	397	△34.5	264	△37.6
2019年3月期第1四半期	27,201	△0.0	487	22.3	607	20.3	424	22.6

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 12百万円 (△97.9%) 2019年3月期第1四半期 605百万円 (4.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	58.92	—
2019年3月期第1四半期	94.34	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	53,796	30,314	55.6	6,653.49
2019年3月期	54,312	30,753	55.9	6,751.07

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 29,901百万円 2019年3月期 30,340百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	—	—	100.00	100.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	100.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	56,000	3.5	1,000	△0.9	1,100	△4.0	750	△3.3	166.88
通期	112,000	3.1	2,000	8.7	2,200	5.4	1,500	28.4	333.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	4,897,723 株	2019年3月期	4,897,723 株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	403,557 株	2019年3月期	403,487 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	4,494,203 株	2019年3月期1Q	4,494,729 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10
(1) 販売の状況	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、政府の各種政策を背景に企業業績や雇用環境が緩やかな回復基調を続けましたが、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動などにより、景気の先行きは不透明な状況にありました。

食品流通業界におきましては、個人消費が伸び悩むなか、消費者の低価格志向は継続しており、企業間競争は一段と厳しい状況が続きました。

ビジネスホテル業界におきましては、訪日外国人の増加に伴う宿泊需要や国内の観光需要に支えられ引き続き順調に推移しましたが、都心部においては競合するホテルの開業が相次ぐ状況にありました。

このような状況のなかで、当社グループは引き続き、地域に密着した営業を展開するとともに、商事部門では物流の効率化、ホテル部門では客室のリニューアルなどを行ってまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同期比5億円増加し277億2百万円（前年同期比1.8%増）となりましたが、販売費及び一般管理費の増加等により営業利益は2億89百万円（前年同期比40.6%減）、経常利益は3億97百万円（前年同期比34.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億64百万円（前年同期比37.6%減）となりました。

## 事業別セグメントの概況

## ① 商事部門

商事部門につきましては、消費者の節約志向が継続するなか、一部商品において価格改定が行われるなど、販売競争は一段と厳しいものとなりました。

このようななかで、商品供給を的確に行うとともに、新規取引の獲得、新商材の提案などを積極的に行ってまいりました。

部門別の売上高は、食品では、砂糖、冷凍・チルド商品、菓子が低調に推移しましたが、加工食品、酒類が順調に推移したことにより増収となりました。業務用商品では、小麦粉は販売数量が若干減少したものの販売価格が上昇し、また澱粉、油脂、業務用食材などいずれも順調に推移したことにより増収となりました。飼料畜産では、飼料は養豚、養鶏の生産者向けの販売が堅調に推移しましたが、畜産は成豚集荷頭数、食肉販売とも低調に推移したことにより減収となりました。米穀は、家庭用精米、業務用精米の販売が低調に推移しましたが、玄米販売が順調に推移したことにより増収となりました。

その結果、商事部門の売上高は264億66百万円（前年同期比1.8%増）、営業利益は2億35百万円（前年同期比26.2%減）となりました。

## ② ホテル部門

ホテル部門につきましては、都心部においては、競合ホテルの新規出店などがあつたものの客室単価、稼働率は堅調に推移し、また引き続き増加する訪日外国人客の取込みに加え、国内の団体客、観光利用客、一般利用客も堅調に推移しました。また、2018年11月30日に新規オープンしたパールホテル新宿曙橋も順調に推移しております。

その結果、ホテル部門の売上高は11億83百万円（前年同期比15.0%増）、営業利益は2億40百万円（前年同期比9.9%増）となりました。

## ③ 不動産部門

不動産部門につきましては、JR船橋駅前ビルの賃貸契約が2018年2月28日に終了したことに伴い、売上高は52百万円（前年同期比67.5%減）、営業利益は49百万円（前年同期比66.0%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ5億15百万円減少し537億96百万円となりました。主な内容は商品及び製品の増加2億74百万円、原材料及び貯蔵品の減少3億87百万円、投資有価証券の減少3億68百万円などによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ77百万円減少し234億81百万円となりました。主な内容は支払手形及び買掛金の減少1億25百万円、短期借入金の増加57百万円、未払法人税等の減少1億21百万円などによるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ4億38百万円減少し303億14百万円となりました。主な内容は利益剰余金の減少1億84百万円、その他有価証券評価差額金の減少2億59百万円などによるものです。

キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは5億17百万円（前年同期比3億71百万円の収入減）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益3億91百万円、減価償却費1億30百万円、法人税等の支払額△1億90百万円などによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは△11百万円（前年同期比1億47百万円の支出減）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出△14百万円などによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは△4億27百万円（前年同期比4億57百万円の支出減）となりました。これは主に配当金の支払額△4億49百万円などによるものです。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物四半期末残高は前連結会計年度末から76百万円増加し76億26百万円（前年同期比56百万円減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年5月10日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,596	7,672
受取手形及び売掛金	14,212	14,252
商品及び製品	1,416	1,690
仕掛品	27	28
原材料及び貯蔵品	899	511
未収入金	3,682	3,559
その他	82	92
貸倒引当金	△17	△18
流動資産合計	27,899	27,790
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,246	13,285
減価償却累計額	△9,558	△9,642
建物及び構築物 (純額)	3,688	3,643
機械装置及び運搬具	1,838	1,817
減価償却累計額	△1,492	△1,467
機械装置及び運搬具 (純額)	346	350
土地	10,405	10,405
その他	1,571	1,603
減価償却累計額	△1,232	△1,257
その他 (純額)	338	346
有形固定資産合計	14,778	14,745
無形固定資産		
ソフトウェア	30	25
その他	94	92
無形固定資産合計	125	118
投資その他の資産		
投資有価証券	8,709	8,341
長期貸付金	272	266
繰延税金資産	12	20
差入保証金	2,440	2,440
その他	208	209
貸倒引当金	△135	△135
投資その他の資産合計	11,508	11,142
固定資産合計	26,412	26,006
資産合計	54,312	53,796

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,411	17,286
短期借入金	2,208	2,265
未払法人税等	200	79
賞与引当金	70	38
ポイント引当金	11	12
その他	1,769	1,970
流動負債合計	21,671	21,653
固定負債		
社債	5	5
繰延税金負債	623	556
退職給付に係る負債	718	692
役員退職慰労引当金	6	6
長期未払金	27	27
環境対策引当金	12	12
その他	493	528
固定負債合計	1,886	1,828
負債合計	23,558	23,481
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,599	5,599
資本剰余金	5,588	5,588
利益剰余金	17,359	17,175
自己株式	△873	△874
株主資本合計	27,673	27,488
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,728	2,469
退職給付に係る調整累計額	△61	△56
その他の包括利益累計額合計	2,667	2,412
非支配株主持分	412	412
純資産合計	30,753	30,314
負債純資産合計	54,312	53,796

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	27,201	27,702
売上原価	24,192	24,662
売上総利益	3,009	3,039
販売費及び一般管理費	2,521	2,749
営業利益	487	289
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	90	95
その他	31	14
営業外収益合計	125	114
営業外費用		
支払利息	5	4
為替差損	—	1
その他	0	0
営業外費用合計	6	6
経常利益	607	397
特別損失		
固定資産処分損	—	6
減損損失	0	—
特別損失合計	0	6
税金等調整前四半期純利益	607	391
法人税、住民税及び事業税	149	87
法人税等調整額	33	36
法人税等合計	182	124
四半期純利益	424	266
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	424	264

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	424	266
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	174	△259
退職給付に係る調整額	6	5
その他の包括利益合計	180	△254
四半期包括利益	605	12
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	604	10
非支配株主に係る四半期包括利益	1	1

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	607	391
減価償却費	125	130
減損損失	0	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△35	△31
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△13	△17
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	0	0
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1	0
受取利息及び受取配当金	△94	△99
支払利息	5	4
有形固定資産除売却損益 (△は益)	—	6
売上債権の増減額 (△は増加)	△406	△40
たな卸資産の増減額 (△は増加)	121	111
その他の資産の増減額 (△は増加)	△93	100
仕入債務の増減額 (△は減少)	774	△125
その他の負債の増減額 (△は減少)	148	110
その他	△62	69
小計	1,079	611
利息及び配当金の受取額	92	101
利息の支払額	△5	△4
法人税等の支払額	△277	△190
営業活動によるキャッシュ・フロー	889	517
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△162	△14
有形固定資産の除却による支出	△1	△0
投資有価証券の取得による支出	△2	△1
その他	6	4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△158	△11
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△364	70
長期借入金の返済による支出	△30	△13
配当金の支払額	△449	△449
その他	△41	△35
財務活動によるキャッシュ・フロー	△885	△427
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	△1
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△153	76
現金及び現金同等物の期首残高	7,836	7,549
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,682	7,626

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	商事部門	ホテル部門	不動産部門	計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	26,009	1,029	162	27,201	—	27,201
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	8	0	13	21	△21	—
計	26,017	1,029	175	27,223	△21	27,201
セグメント利益	319	219	145	683	△196	487

(注) 1. セグメント利益の調整額△196百万円には、のれん償却額△2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△197百万円、その他3百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・人事・経理・情報システム部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
重要性が乏しいため、記載を省略しております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	商事部門	ホテル部門	不動産部門	計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	26,466	1,183	52	27,702	—	27,702
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	9	0	13	22	△22	—
計	26,475	1,183	66	27,725	△22	27,702
セグメント利益	235	240	49	526	△236	289

(注) 1. セグメント利益の調整額△236百万円には、のれん償却額△2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△237百万円、その他3百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・人事・経理・情報システム部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとののれんに関する情報  
重要性が乏しいため、記載を省略しております。

## 3. 補足情報

## (1) 販売の状況

(単位：百万円、%)

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (2018年4月1日から 2018年6月30日まで)	当第1四半期連結累計期間 (2019年4月1日から 2019年6月30日まで)	前年同期比
食品（酒類・飲料含む）	17,399	17,824	102.4
業務用商品	3,840	3,888	101.2
米穀	1,940	1,960	101.0
飼料・畜産	2,828	2,791	98.7
商事部門計	26,009	26,466	101.8
ホテル部門	1,029	1,183	115.0
不動産部門	162	52	32.5
合計	27,201	27,702	101.8